

赤潮情報第26号 (八代海 シャットネラ属 注意報続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究所
TEL0964-56-2613 FAX56-4533

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

八代海と有明海でシャットネラ属が確認されました。

本日、熊本県が八代海を調査したところ、シャットネラ属が広範囲で確認されました(詳細は下図を参照して下さい)。本種は極めて有害で、ブリ、カンパチ、マダイ、トラフグ等の魚介類をへい死させる恐れがありますので、周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、餌止め等の対策を行うとともに、海の色の変化や養殖魚等の状態に十分注意して下さい。

なお、八代港内港では、コクロディニウム ポリクリコイデスが海水1mL 当たり60細胞が確認されました。

また、八代海北部から田浦沖では珪藻類の赤潮(優占種:スケルトネマ属、キートセロス属)が発生しています。本県において本種により魚介類がへい死したことはありませんが、周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、海の色の変化や養殖魚等の状態に注意して下さい。

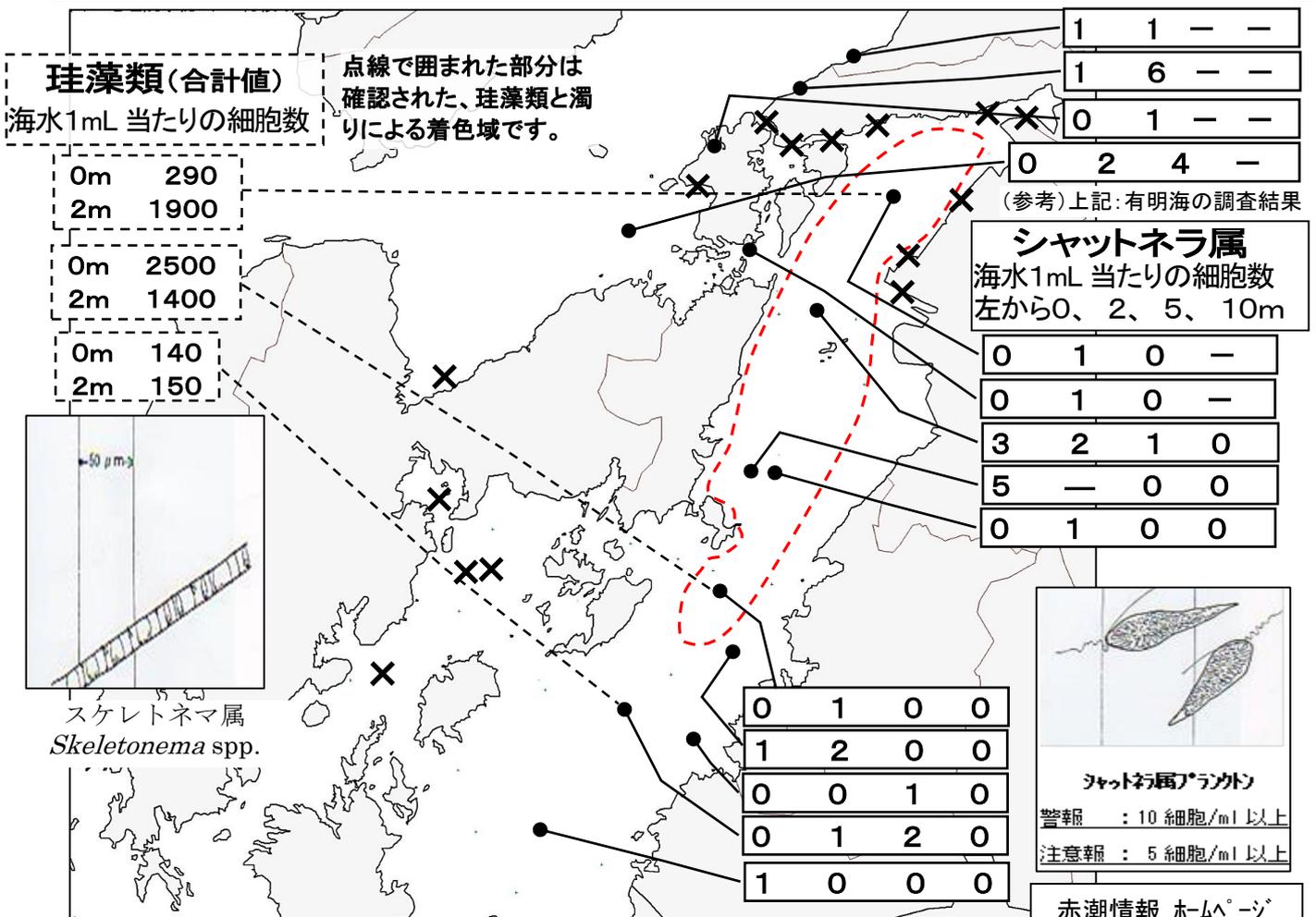


図 赤潮発生海域

※点線で囲まれた部分は、確認された、珪藻類と濁りによる着色域です。
※×印: 全ての採水層でシャットネラ属が0細胞(採水層:0、2、5、10m、但し岸壁採水は松合漁港と八代海東岸は0m、その他は0mと2m)
※—印: 未調査

